

# 那須平成の森

那須の雪は水分が少ないため結晶のまま降ってきます。今冬は、12月にドカンと降り1月に随分融けましたが、中旬を過ぎてから降り続き一面雪に包まれました。

1月19日(土)、積雪は大人の膝を軽く超え53cm。雪の森に出かけた親子ツアー。小さな子どもたちにとって初めてのスノーシュー体験でした。ふわふわの新雪に大騒ぎ、散策よりも走ったり、わざと転がったり、雪の中を泳いでいました。クマの爪痕、モミの葉の匂い。ふわふわ雪は子どもも大人も笑顔にしてくれました!

例年だとスノーシューは3月まで可能です。

那須の冬遊びは、これからが本番です。

## 雪のプログラム「アクアの世界」

冬の森の中にはたくさんの「みず」が溢れています。動物たちの吐く白い息、土をモッコと押し上げる霜柱、沢の氷の下を流れる水、そして森を埋め尽くすかのように空から降ってくる雪。雪の結晶は「天から送られた手紙である(1951年 中谷宇吉郎)」と言われるほどに、様々な形をしています。その手紙をあなた自身の目で読んでみませんか?

そして雪からまた水蒸気となって天にもどる「みず」もあれば、液体となって地面に染込んでいく「みず」もあります。「みず」は空気中、地中、海の中、あらゆるところにあります。

もしかすると、以前出会った「みず」が雪の結晶となってあなたの上に降り注いでいるのかもしれない。(本間)



## 古くて、新しいスノーシュー



スノーシューを初めて履いた時「歩きづらそうだな」と感じたものです。その威力を体感するのは深い雪の上を歩く時です。いつものように歩くことができる、それがとても衝撃的でした。

スノーシューの起源は紀元前6,000年~4,000年と言われています。日本でも縄文時代から生活や狩猟の道具として使われていたとのこと。古代の人たちは、これを履いて何を見ていたのでしょうか。

自然の神秘は今も昔も変わらず私たちに感動を与えてくれます。スノーシューガイドウォークでは、そんな雪の森をご案内しています。(中園)

※金土日曜日、祝日に実施しています

## はなをくんくん

「あっ、私このにおい好き〜。これ何のにおい?」という声がラウンジから聞こえてきて、僕はおもわず(ニヤツ)としてしまいました。

その展示の名は「森の玉手箱」。6つの箱にはそれぞれ「精油成分たっぷり♡和のアロマ」といったポップが書かれています。つまり、箱を開けないと中身がわからないわけです。何が入っているのかドキドキしながら蓋を開けて…。鼻を近づけて、鼻に意識を集中して「くんくん」と嗅いでみて下さい。すると、室内にいるのにまるで森にいるような感覚になることでしょう。今ある香りは「モミ」「マツ」「土」それから・・・「ノウサギのフン」!?!。フンなんて嗅がせるなよ〜なんて思った方、ノウサギは基本的に植物しか食べないので、フンも植物の香りがします。僕はけっこうノウサギのフンの香り、好きなんです。どんなものかは、嗅いだときのお楽しみです♪(右田)



## なすビジ通信

那須高原ビジターセンターからの季節の情報をお届けします!



### 情報満載、入館無料のあったか空間へ

新たな年を迎えた2013年1月。那須連山を目指して那須街道を進んだ標高約800mにある那須高原ビジターセンター。那須湯本温泉街近く、1月は雪かきに始まる毎日です。

ゲレンデや温泉への行き帰りは是非、情報満載、入館無料のあったか空間にお立ち寄りください。展示室では、日光国立公園に生息している動植物、那須・甲子地域の成り立ち、皇室との関わり等を自分で見て・触れて・考えて見学できるようになっています。

人気の「もんきりあそび」のコーナーでは、冬の間は「雪の結晶」をテーマにみなさんが作った雪の結晶を飾っています。あなたの結晶もこのコレクションに加えてみてはいかがでしょうか。

「ひとりだけのプラネタリウム」は外見はよくわからないダンボールの塊ですが、中に入るとそこには満天の星空!夜空の星を独り占めできる体験展示です。実際に外で星空観察をする前に、予備知識を付けてみるのもお勧めです。

火山の恵みを受け、様々な泉質を持つ温泉が一带に広がる那須湯本。泉質を調べ温泉マップ片手に出かけあったまるのも、寒い時だからこそその楽しみですね。(宮崎)



### なすビジ秋まつり

#### ~来て、見て、やって、楽しんDAY~



日頃の「ありがとう」の気持ちを込めて、那須高原ビジターセンター開館1周年記念イベント開催しました。ご協力いただいた地元の方々のおかげで那須湯本案内ガイド、写真展、工作体験、いも煮のふるまい、観光PR展示、環境教育団体の活動展示、お楽しみ抽選会等を行う事ができました。

那須どうぶつ王国よりアルパカのルカちゃんやご当地ゆるキャラの「とちまるくん」と「キュービーくん」の登場も来館者を喜ばせてくれました。開催日11月11日はとちまるくんの誕生日だったので、来館者の皆さんと一緒にバースデーカードを作りました。

「来年もこのイベントやって欲しい」「子ども目線で楽しめた」「いも煮がとっても美味しかった」等の嬉しい声を、参加団体の皆さんからも「地元の繋がりができて良かった」「一日だけの開催はもったいない」「次回も参加したい」等の感想を頂いています。

「なすビジ秋まつり」の様子は那須高原ビジターセンターに掲示していますので、是非見に来て下さい。(増子)

## 那須平成の森スタッフおすすめ情報

「おすすめ本!!」

HOLIDAY BOOK  
(RARI YOSHINO 2004年発行 六曜社)



かわむら えつこ  
川村 悦子  
(やまねこ)



「森の自然を  
紹介します!!」

すがわら ゆう  
菅原 遊  
(ゆう)



冬の日、手仕事似合います。外はどんなに吹雪いてもあったかい部屋でぬくぬくしながら手を動かします。それは一人の時でも、仲間と一緒にでも、プログラムでも。薄い茶色と黒の羊毛を使い、専用の針で突き刺すこと30分余り。かわいい冬眠ヤマネも作れます。プログラムで出来上がったヤマネをfacebookに載せたら、作りたいというオーダーをいただきました。

森のなかで暮らす生き物に思いをはせながら作る「私だけの冬眠ヤマネ」。那須の冬、ホリデイには手仕事もおすすです。

冬が好きです。どの位かという、「冬」や「雪」の字をみると少しテンションが上がる位です。

雪が積もった朝は、スノーボードに行きたくて、「仮病」の二文字が頭をよぎります。

冬の森が好きです。真っ白な風景。その中の静けさ。雪を踏みしめた時のくもった音。雪面に点々と続く動物の足跡。雪の上に寝転んだ時のスッポリ感。雪の結晶の美しさ。鼻の奥がツンとする感じ。この全てが平成の森で体験できます。

今年も冬が来ました。ぜひ一緒に森を歩きましょう。

### 11月・12月・1月 こんなことがありました!

- ☆11月
  - ・ガイドウォーク特別編「紅葉の広がる那須平成の森散策」
- ☆12月
  - ・ガイドウォーク特別編「はじめて歩く冬じたくの森」
  - ・サポーター対象企画「冬のための準備隊」
- ☆1月
  - ・ガイドウォーク特別編「ナイトハイク、ナイトソロ」

### 2月・3月・4月 こんなことを予定しています!

- ☆2月
  - 2月10日(日) ガイドウォーク特別編「星めぐりの夜」
- ☆3月
  - 3月24日(日) ガイドウォーク特別編「スノーシューで歩く夜の森」
- ☆4月
  - 4月28日(日) ガイドウォーク特別編「限定開催!カタクリが咲く学びの森歩き! (仮)」